



ふたば未来学園中学校  
3年 阿久津 こはる さん

得意科目は数学。お肉が大好きで、大会の結果で、ステーキの厚さが変わるため、モチベーションに繋がっている様子。

心掛けていることは、「笑顔」と「感謝」を忘れないこと。

地元に戻ってきて、多くの方から嬉しい言葉をいただきました。地域の方々に応援されていると改めて感じ、少しは結果で恩返しできたのではないかと思います。今後のインターハイ、国際大会で活躍出来るように頑張りますので、応援よろしくお願いします。

町民の皆さんへ

好きになっていました。そんな楽しさもあり、小学校時代は全国大会で入賞も何度か経験しました。目標はオリンピックでの金メダルで、今回の優勝がまた一つ自信となった様子。レスリングを通して、人々に夢や希望を与えられる人になりたいと語る阿久津さんの挑戦は始まったばかりです。

日本は、世界有数のレスリング大国で、女子の日本代表になることは、常に世界一になることが求められます。そのプレッシャーの中、果敢に攻め、優勝できたことは、日頃の鍛錬によるもので、素晴らしい結果だと思います。

ふたば未来学園高校の創設当時、顧問として中高一貫教育でのレスリング指導のメリットを働きかけました。現体制になり5年、世界で活躍できる選手が誕生したのです。本町においても、一貫した指導体制の整備が求められます。



福島県  
レスリング協会  
会長 渡部 友幸 さん

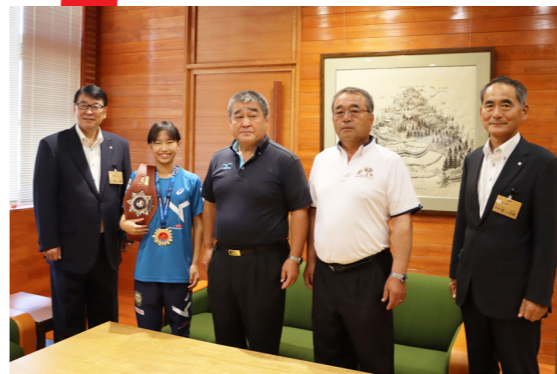
南会津町から

世界の頂へ

阿久津こはるさん



8月4日、トルコ・イスタンブールにて開催されたレスリングのU17世界選手権女子40キログ級で、中荒井出身でふたば未来学園中学校3年生の阿久津こはるさんが見事、優勝に輝きました。阿久津さんは、4月に国内の選考会を突破し、自身初となる国際大会への出場。世界の強豪選手を相手に危なげない試合展開で決勝まで駒を進め、決勝では、インドのU17アジア選手権チャンピオンと対戦。残り30秒で膝を痛めるアシデントに見舞われましたが、攻めの姿勢を貫き、ポイント4-3の接戦を制しました。



表敬訪問に訪れた阿久津さん(左から2人目)

本大会を振り返って

8月10日、阿久津さんが優勝を報告するため、福島県レスリング協会長の渡部友幸さんと、恩師である田島ちびっ子レスリングクラブ代表の渡部徳一郎さんとともに、渡部町長を表敬訪問しました。気負うことなく、今まで練習を信じて得意技である片足タックルを中心に、果敢に攻めることができたことと大会を振り返りました。

優勝した瞬間は、信じられないという感動で涙があふれ、指導者の方や両親、お世話になっている方々の顔が浮かんだそうです。「優勝できたことは、多くの方々の支えと応援があったからだと思います。感謝の気持ちでいっぱいです。」と話してくれました。

レスリングとの出会い

友人に誘われ、4歳から始めた「田島ちびっ子レスリングクラブ」では、レスリングの基礎と楽しさを学んだとのこと。

クラブの中でも特に小柄だった阿久津さんですが、負けず嫌いで、勝てばすごく楽しくて、どんどん

田島ちびっ子  
レスリングクラブ

阿久津さんも4歳から通っていたレスリングクラブで、これまでも全国で活躍する多くの選手を輩出してきました。

現在は、未就学児から中学生まで12人が在籍しており、それぞれの目標に向かって、毎週2回2時間程度、トレーニングに励んでいます。



田島ちびっ子  
レスリングクラブ  
代表 渡部 徳一郎 さん

私たちのクラブから世界で活躍し、日本の次世代を担う選手が生まれたことは誇りに思います。

レスリングの本質は格闘技ですので、決して楽なスポーツではありませんが、タフな練習をこなすことで体力や技術だけでなく、精神的にも成長できるスポーツです。

現在は、全国で活躍していた選手が、若き指導者として頑張ってくれています。

また、団員も募集していますので、レスリングを通して、心と体を鍛えてみませんか。

